

## 名水

小浜は名水、湧水の豊富なところ。山へ降った雨が天然の濾過を経て湧き出します。「お水送り」の行事に代表されるように、清浄な水の道は今も不思議な線を描いて南へと伸びて行きます。また若狭湾からの海水も地下を通して京都へ、奈良へと水脈が続いていたという伝承も残ります。



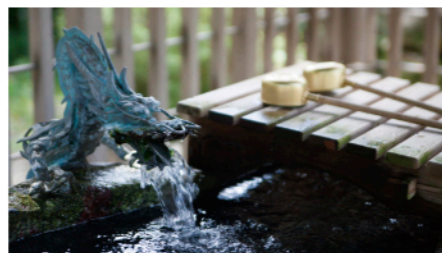
**お水送り** 奈良東大寺の「お水取り」に先がけて、若狭神宮寺で行われる行事。名水百選の鶴の瀬から遠敷川に注ぎ込まれた関加 waters は、10日間かけて奈良東大寺二月堂の「若狭井」に届くと言われています。



**若狭姫神社の前川** 浅瀬ながら川魚が息する清流に心癒されます。



**若狭彦神社 宮山の湧水** 宮山の森の水が地中にしみ込み、時を経て湧き出しています。



**八幡神社「後瀬清水」** 万葉集にも詠われた後瀬山の麓の神社の境内に、清水を湛えた井戸は神撰水として大切にされてきました。



**雲城水** 海のすぐ傍に湧く淡水は平成の名水百選に認定。近郷は言うに及ばず遠方からも水を汲みに来る人が絶えません。

## 悠久の歴史と文化

古くより大陸と奈良や京の都を繋ぐ「文化の玄関口」として栄えた小浜。130以上の寺院が点在し、文化財は国指定の64点をはじめ249点に及び、時代の変遷・歴史を見ることができます。仏さまとの出会いや心の安らぎを求めに小浜を訪れてみませんか。



**妙楽寺 千手観音菩薩立像** 千手観音像は十一面四十二臂が一般的ですが、本像には二十四面の顔と実際に千本の手を表現した大変珍しい仏像です。



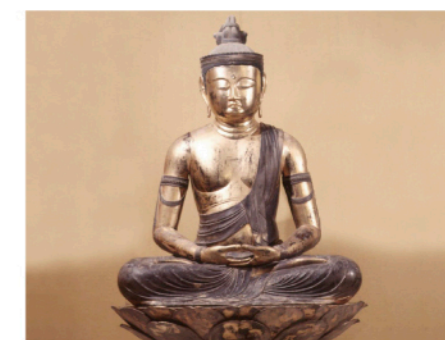
**国分寺 薬師如来坐像** 質実剛健といった鎌倉時代を表すかのように、充実した体躯と明快な表情は、若狭地方きっての完好豊麗な仏像です。



**羽賀寺 十一面観音菩薩立像** 行基が女帝元正天皇の姿を写し刻んだとされ、平安期の極彩色の残る観音の現存例が殆どなく希少で、一木造でありながら金箔を施された像高は250cmもの大作です。



**明通寺 深沙大将立像** 平安末期の作。玄僧三蔵の旅を見守った仏さまで、沙悟浄のモデルとされています。国指定のものは全国に4体しかありません。



**圓照寺 大日如来坐像** 北陸地方では大日如来像の現存例が殆どなく希少で、一木造でありながら金箔を施された像高は250cmもの大作です。



**若狭姫神社** 養老5年(723年)の鎮座。祭神の豊玉姫命は縁結び、安産、海上安全の神様です。若狭彦神社と合わせて若狭一の宮とも総称し、若狭国きっての格式高い古社です。社殿の横には千年杉がそびえ立ち、朝もやに包まれたパワースポットとしても有名です。